

林産物の供給及び利用に関する目標（抜粋）

望ましい森林の整備・保全が行われた場合の木材供給量、今後の需要動向を見通した上で、諸課題が解決された場合に実現可能な木材利用量を目標として設定しています。

(単位：百万㎡)

	令和元年 (実績)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
木材供給量	31	40	42

(単位：百万㎡)

	総需要量			利用量		
	令和元年 (実績)	令和7年 (見通し)	令和12年 (見通し)	令和元年 (実績)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
製材用材	28	29	30	13	17	19
合板用材	10	11	11	5	7	7
パルプ・チップ用材	32	30	29	5	5	5
燃料材	10	15	16	7	8	9
その他	2	2	2	2	2	2
合 計	82	87	87	31	40	42

注1：用途別の利用量は、国産材に係るものである。
注2：「燃料材」とは、ペレット、薪、炭、燃料用チップである。
注3：「その他」とは、しいたけ原木、原木輸出等である。
注4：百万㎡単位で四捨五入しているため、計が一致しないものがある。

